

創立 70 周年を迎えるにあたって

一般社団法人日本繊維機械学会は、繊維産業に携わる方々の結集体として昭和 23 年に設立されて以降、

- 繊維関連技術発展と人材育成のための研究発表会、講演会、講習会等の企画実施
- 学会誌および論文集等の発刊をはじめとする繊維・繊維機械技術に関する学術の普及
- 国際会議開催等による国際社会への技術発信と交流活動

を活発に展開し、繊維及び繊維機械に関する学術の進歩、かつこれらに関連する工業技術の発展に努め、平成 29 年に創立 70 周年を迎えることとなりました。これはひとえに会員の皆様の絶大なるご支援とご協力の賜物であり、ここに深く感謝の意を表します。

学会創立以降、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きな発展を遂げた一方、繊維産業を取り巻く環境も変貌を遂げるなか、時代に即した技術者、研究者の育成支援も必要です。

70 周年という節目にあたり、このような繊維産業を取り巻く現状を鑑み、本学会では、繊維及び繊維機械に関する更なる学術の進歩、工業技術への更なる貢献を推進すべく、「**繊維産業の未来を語ろう**」をメインテーマとして、下記の記念事業を計画しております。

<p>(1) 創立 70 周年記念式典 【期日】 平成 29 年 9 月 13 日 (水) 【会場】 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1) 【内容】 産・官・学からのご祝辞や基調講演ならびに繊維産業に携わる方々の交流を促進。</p>
<p>(2) 日本繊維機械学会ミュージアム 【期日】 平成 29 年 9 月 13 日 (水)、14 日 (木) 【会場】 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1) 【内容】 繊維産業に関わる人材の育成を目的とし、繊維関連企業にご協力いただき、繊維産業の社会への貢献をテーマとした技術展示。</p>
<p>(3) 国際シンポジウム「第 45 回繊維工学研究討論会」 The 45th Textile Research Symposium 【期日】 平成 29 年 9 月 14 日 (木) ~ 16 日 (土) 【会場】 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1) 【内容】 国内外の技術者・研究者の国際的な技術交流と連携の深化。</p>
<p>(4) 第 70 回記念年次大会 【期日】 平成 29 年 6 月 2 日 (金)、3 日 (土) 【会場】 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4) 【内容】 研究成果、製品発表ならびに懇親会を通じて、学術的・技術的交流を深め、繊維ならびに繊維機械に関する情報や意見交換を行う (第 69 回大会の参加者は延べ 650 名)。</p>
<p>(5) 繊維機械学会誌「月刊せんい」特集号の刊行 【内容】 平成 29 年度に記念特集号を刊行。</p>
<p>(6) 若手研究者・技術者育成基金の設立 【内容】 次世代の繊維産業を担う若手人材育成を目的として、10 年間にわたり研究助成金を交付するための基金を創設する。</p>

創立 70 周年記念行事に加え、若手研究者・技術者育成基金の設立には、通常の学会活動資金に加えて新たな財源を必要と致します。本活動へのご理解をいただき、広く皆様方よりご寄付のご支援・ご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

賜りましたご寄付は、学会の特別会計に繰り入れ、上記の実施に充てさせていただきます。募金総額は 1,600 万円を目標としております。正会員のみなさまには 1 口 5,000 円にてご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

一般社団法人日本繊維機械学会長 喜成 年泰
 創立 70 周年記念事業実行委員長 鋤柄佐千子

創立 70 周年記念 若手研究者・技術者育成事業 日本繊維機械学会賞「学術研究奨励賞」募集要項

1. 趣旨

本学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的としたものです。

2. 応募資格

2016 年 12 月 31 日において 45 歳以下の研究者・技術者

3. 研究テーマ

繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究

4. 応募の方法

所定の研究計画書ファイルを学会 HP からダウンロードして作成し、日本繊維機械学会事務局宛に提出してください。

5. 応募の締め切り

2017 年 3 月 17 日(金)必着

6. 選考結果の発表

2017 年 5 月下旬までに、申請書を元に審査のうえ贈賞者を決定し、本人に書状にて通知します。

7. 表彰

2017 年 9 月 70 周年記念式典にて表彰式を開催予定です。

賞状ならびに副賞（奨学寄付金：1 件につき最大 50 万円）を授与します。

8. 研究成果の報告

所定期間内（原則三年以内）に報告書を提出し、日本繊維機械学会（以下本学会）年次大会で成果を発表すること。さらに、研究終了後所定の期間内（原則一年以内）に成果をまとめ、本学会の学術論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) に投稿すること。

なお、会社に帰属する研究成果の公表の可否と範囲については、受賞決定後に選考委員会と協議する。

9. 留意事項

- 1) 受賞時には本学会の会員であること。
- 2) 応募に際して本学会員の推薦を必要とする。
- 3) 企業の研究者が応募する場合は、あらかじめ所属する部局長の承諾を得ること。

創立 70 周年記念 年次大会特集号 NOTE 原稿募集

日本繊維機械学会は平成 29 年に創立 70 周年を迎えます。それを記念し、ジャーナル編集委員会では 70 周年記念年次大会特集号の発行を計画しております。本学会では現在、論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) を隔月で刊行しており、ORIGINAL PAPER と NOTE, REVIEW それぞれのカテゴリーの論文を掲載しています。特集号では、このうちの NOTE として掲載できる研究論文を募集します。

NOTE は ORIGINAL PAPER と同様に未刊行の内容ですが、理論・実験・技術における新しい進歩を速報するための論文です。将来において充実した論文に完成させることを前提としたもので、原稿の長さは、原則として刷り上がり 4 頁以内です。

この特集号では、70 周年記念年次大会（平成 29 年 6 月 2 日、3 日開催）において研究発表を行う皆様を対象に、NOTE への投稿希望の有無を申請いただき、通常と同じ査読審査をより迅速に行うことで 70 周年記念年次大会特集号に論文を掲載するものです。本特集号が、最新の繊維関連研究を俯瞰できる内容となることを意図しております。

本特集号に論文（NOTE）の掲載を希望される方は、年次大会用の通常の 2 頁の予稿集原稿と同時に、刷り上がり 4 頁程度の投稿原稿を期日までにご提出ください。なお、投稿原稿（NOTE の原稿）は学会の論文投稿規定に従って作成してください。皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

- 投稿期日：平成 29 年 4 月 10 日（月）
- 掲載費用（別刷り料金）：無料（カラーは別途料金）
- 発行予定：第 63 巻，第 4 号（平成 29 年 8 月発行予定）

ジャーナル編集委員会	
委員長	木村 裕和（信州大学）
副委員長	保田 和則（愛媛大学）
	山本 貴則（大阪府立産業技術総合研究所）
編集委員	上田 博之（大阪信愛女学院短期大学）
	近藤 幹也（東京都立産業技術研究センター）
	解野 誠司（和歌山県工業技術センター）
	堀場 洋輔（信州大学）
	山下 義裕（大阪成蹊短期大学）
	與倉 弘子（滋賀大学）
	金井 博幸（信州大学）
	小柴 孝（奈良工業高等専門学校）
	則末 智久（京都工芸繊維大学）
	松岡 敏生（三重県工業研究所）
	山本 剛宏（大阪電気通信大学）

2017 学術ミキサー

新年を迎えるにあたり、「2017 学術ミキサー」を大阪にて開催いたします。繊維関連の3学会共催による開催も3年目となりました。2016年度は3学会と一緒に「スマートテキスタイル研究会」を運営することになった年度でもございます。

「2017 学術ミキサー」では、各学会会長もしくは副会長からの挨拶、「スマートテキスタイル研究会」の委員長堀照夫氏からの研究会の紹介とともに、株式会社感性リサーチ 代表取締役社長 黒川 伊保子氏より『感性マーケティング～脳が創り出す時代の風』と題して基調講演をいただきます。黒川氏は富士通ソーシャルサイエンスラボラトリで人工知能の研究に従事したのち、株式会社感性リサーチを設立。世界初の語感分析法を開発し、多くの商品名やマーケティング戦略を手掛けておられます。脳科学と独自のマーケティングをもとに人間の思考や行動についても多数の著書がございます。（『怪獣の名はなぜガグゲゴなのか』（新潮社）、『鈍感な男 理不尽な女』（幻冬舎）、『英雄の書』（ポプラ社）、『脳科学的に正しい恋愛脳の作り方（KADOKAWA）、『「ぐずぐず脳」をきっぱり治す！ 人生を変える7日間プログラム』（集英社）、他。）男性女性に限らず、どの世代の方にも前向きな勇気を与えてくださること必至です。

この機会に、平素よりご支援、ご指導を頂いております大学、研究機関、企業ならびに関連団体の方々との間で情報交換をしていただきながら、繊維関連の学術、産業、マーケティングについて今後を展望したいと存じます。各学会の維持会員・賛助会員はじめ大学・企業・団体会員の方々におかれましては、3学会の会員同士の連携や情報交換の貴重な機会です。多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 1 月 25 日(水)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

内 容 予定

- (1) 3学会の会長もしくは副会長から挨拶（14.00～14.15）
- (2) 「スマートテキスタイル研究会」の紹介及びスマートテキスタイル関連の研究紹介（14.15～14.55）
 …………… スマートテキスタイル研究会委員長、福井大学 産学官連携本部 客員教授 堀 照夫
- (3) 基調講演「感性マーケティング～脳が創り出す時代の風」（15.00～16.30）
 …………… 株式会社感性リサーチ 代表取締役、人工知能研究者、脳科学コメンテーター 黒川伊保子
- (4) 交流会（軽食）（16.30～18.00）

共 催 一般社団法人繊維学会、一般社団法人日本繊維機械学会、一般社団法人日本繊維製品消費科学会

参加費 3,000 円（税別）

定 員 70 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

申 込 「2017 学術ミキサー」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号）、④交流会参加の有無を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

情報化委員会

委員長 保田 和則（愛媛大学）

委員 武内 俊次（福原産業貿易）

山下 義裕（大阪成蹊短期大学）

横山 敦士（京都工芸繊維大学）

講演会「ITMA ASIA + CITME2016(上海)視察報告」

中国最大の繊維機械展とされる「中国国際繊維機械展示会」(CITME)と「国際繊維機械見本市アジア展示会」(ITMA ASIA)が平成28年10月21日～25日の日程で上海にて開催されました。

アジア地区の最新動向を知ることは、これからのアジア地区の戦略を練る意味でも重要です。本講演会ではITMA ASIA & CITME2016(上海)に参加された方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説頂きます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会と存じます。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 平成29年1月27日(金) 9.55～17.25

会 場 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

- 開会の挨拶(9.55～10.00)……………日本繊維機械学会会長, 繊維機械研究会委員長 喜成年泰
- (1) 全般(10.00～10.40)……………金沢大学 教授 喜成年泰
- (2) 合繊機械(10.40～11.20)
- 紡糸巻取関係……………TMTマシナリー(株)技術本部 設計部 岩木孝之
- 加工機関係…………… TMTマシナリー(株)技術本部 DTY設計部 中道貴士
- (3) 紡績機械(11.30～12.10)……………(株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡技室 石井隆久
- (4) 革新精紡機(12.10～12.30)……………村田機械(株)繊維機械事業部 技術部 MSチーム 庄田裕一
- (5) 自動ワインダー(12.30～12.50)
- ……………村田機械(株)繊維機械事業部 技術部 AWチーム 主任部員 吉田恭視
- (6) 織機(13.50～14.30)……………津田駒工業(株)繊維機械技術部 技術織機第2課 課長 南谷徳生
- (7) 編機(14.30～15.10)……………日本マイヤー(株)営業部 部長代理 吉田維之
- (8) 染色加工機械(15.20～16.00)
- ……………(株)日阪製作所 生活産業機器事業本部 設計開発部 設計開発一課 清水 徹
- (9) インクジェット捺染機(16.00～16.40)
- ……………コニカミノルタ(株)インクジェット事業部 開発部 第3開発グループ 松井康祐
- (10) ディスカッション(16.40～17.20)……………講演を頂きました講師
- 閉会の挨拶(17.20～17.25)
- (11) 交流会(17.30～19.00)

共 催 繊維機械研究会

協 賛 大阪染色協会, 日本繊維機械協会

定 員 80名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会会員15,000円, 非会員25,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員3,000円(税別), 繊維機械研究会メンバー無料, 交流会別途5,000円程度

申 込 「講演会ITMA ASIA2016視察報告」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

講演会「技術立国日本の先駆者（第3回）」

日本繊維機械学会は昭和23年に設立され、本年で69年目を迎えます。設立当初は戦後の復興期に当たり、繊維産業は基幹産業として我が国の経済再興の牽引役を果たし、戦後経済発展の一翼を担ってきました。それから約70年経過し、紆余曲折を経て産業としての舞台は東南アジア諸国に移りつつありますが、その基礎となる関連技術は我が国において、益々発展の一途にあると言っても過言ではありません。

本学会では、平成20年に「フェロー制度」を設け、以後、毎年学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた方にフェローの称号を授与しています。この技術立国日本の礎をつくった先駆者の方々に講師に招き、成功と失敗談、光と陰の部分をお腹なく語って頂く講演会を企画しました。ベテランはもちろん、若手の方々にも是非ご参加をお勧めします。

期 日 平成29年2月24日(金) 14.00~17.00

会 場 大阪科学技術センタービル (大阪市西区靱本町1-8-4)

内 容 予定

(1) “細くて長い形” に魅せられて (14.00~15.00)

..... 日本繊維機械学会フェロー、元京都工芸繊維大学 前川善一郎

講演概要

大学卒業後、民間会社で行った化学装置の設計製作で、“細くて長い形”をした繊維材料とプラスチック材料が一体になった繊維強化プラスチック材料と出会い、その魅力に取り付かれ、当時、本材料の最先端研究をしていた大阪市立大学機械工学科藤井研究室の修士学生になり、その後の長い人生には、“細くて長い形”がいつも傍に存在していました。

- 1) 大阪市立大学時代では、主として繊維強化プラスチック材料の信頼性研究に従事し、学位を取得しました。
- 2) 京都工芸繊維大学繊維学部時代では、京都の伝統技術であった組物構造をした繊維強化複合材料の研究開発に従事しました。
- 3) 京都工芸繊維大学先端ファイプロ科学専攻時代では、織物の伝統技術の発掘に従事し、本学会に“染織品と染織文化財研究会”を立ち上げました。
- 4) 京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター時代では、“細くて長い形”をした毛筆字体の感性に関する研究に従事しています。
- 5) 恩返しのため、“細くて長い形”をした繊維材料のすばらしさを小中学生に伝えるフェロー会の行事に積極的に参加しています。

略歴

1963年 大阪大学工学部精密工学科卒業、4年間の民間会社(栗本鉄工所)勤務を経て、1970年 大阪市立大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了、工学博士(大阪市立大学、1981年)、1971年より大阪市立大学工学部機械工学科助手、公立大学在外研究員(米国コロンビア大学、1973年)、1983年より京都工芸繊維大学繊維学部高分子学科助教授・教授、1998年に京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科先端ファイプロ科学専攻設置に伴い移転、2003年より平安女学院大学生活環境学部特任教授、2013年より京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター特任教授、日本繊維機械学会会長、プラスチック成形加工学会副会長、先端材料技術協会副会長強化プラスチック協会賞(論文賞)(1978年、1990年)、日本繊維機械学会技術賞(1988年)、プラスチック成形加工学会論文賞(1993年)

(2) メリヤスとの出会い (15.15~16.15)

..... 日本繊維機械学会フェロー、一般財団法人日本繊維製品品質技術センター 岡野 志郎

講演概要

- 1) メリヤスとは何か?
- 2) メリヤスとの出会い
- 3) メリヤスとの人生

略歴

京都工芸繊維大学工芸学部色染工芸学科卒業、1956年(財)日本メリヤス検査協会【現(一財)日本繊維製品品質技術センター】入社、1983年理事、1990年常務理事、1993年日本繊維製品品質技術センター常務理事、1997年参与、1999年アドバイザー、同年京都ノートルダム女子大学非常勤講師

(3) ディスカッション (16.15~17.00)

協賛 大阪染色協会

定員 30名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 会員 2,000円, 非会員 5,000円（税別）, 学生無料

申込 「講演会技術立国日本の先駆者」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先（所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス）, ④会員種別を記入の上, FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

企業心理と消費者心理研究会（第15回）公開講座 「結婚－変わりゆくもの 変わらないもの－」

第15回目の公開講座は神戸国際大学六甲アイランドキャンパスで実施いたします。

この公開講座は昨年と引きつづき, 同大学のプロジェクト「結婚観の歴史的変遷と多様性に関する学術的研究」とコラボする形で開催いたします。

期日 平成29年2月25日(土) 13.30～16.00 (受付13.10～)

会場 神戸国際大学（神戸市東灘区向洋町生9-1-6）

JR住吉駅にて六甲ライナーの乗り換え, マリンパーク駅下車南に徒歩約3分

内容

13.30～13.40 学長挨拶

13.30～14.40 講演(1)「結婚は人生の墓場か？」

..... 神戸国際大学 経済学部 教授 近藤 剛

15.00～16.00 講演(2)「古事記と源氏物語, 古代の健康の風景」

..... 神戸国際大学 経済学部 教授 白砂 伸夫

申込 ①氏名, ②所属, ③連絡先（所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス）を記入の上, FAXまたはE-mailにて下記宛てお申し込み下さい。

申込先 企業心理と消費者心理研究会 委員長, 神戸学院大学 経営学部 辻 幸恵
E-mail: yukie213@ba.kobegakuin.ac.jp, FAX: 078-871-2413

学会誌編集委員会

委員長 勝圓 進（倉敷紡績）

副委員長 岡本 陽子（神戸女子大学）

編集委員 一田 昌利（京都工芸繊維大学）	乾 明子（カケンテストセンター）	大萩 成男（和歌山県工業技術センター）
岡田 倫子（滋賀県東北部工業技術センター）	勝 眞理（アシックス）	迫部 唯行（ユニチカ）
澤田 淳（TMT マシナリー）	鈴木 芳史（帝人）	高橋 朋子（旭化成）
中川 隆（村田機械）	峯村 慎一（東洋紡）	村井 大輔（消費科学研究所）

テキスタイルカレッジ**繊維製品の品質管理と品質保証**

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について繊維評価技術協議会から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡績、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、TMT ソリューションズ(株)、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 29 年 3 月 3 日(金) 10.00~18.20

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容

- (1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明 (10.00~11.10)
..... (一財)ニッセンケン品質評価センター 東京事業所 研究開発課 課長 木内 智
- (2) 機能性試験の内容と評価基準 (11.15~12.25)
..... (一社)繊維評価技術協議会 大阪支所参事, 日本繊維学会フェロー 越智 清一
- (3) 製品クレームの事象と対策例 (13.15~14.25)
..... (一財)ボーケン品質評価機構 大阪業務部 兼 大阪事業所 試験課 課長 平岩 清隆
- (4) 溶融紡糸長繊維生産品の品質欠点について (14.30~15.30)
..... TMT ソリューションズ(株) 参与 中田 賢一
- (5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響 (15.30~16.30)
..... 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守
- (6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (16.40~17.30)
..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場 秀樹
- (7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (17.30~18.20)
..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 田中 利幸

協 賛 大阪染色協会

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

申 込 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第70回年次大会～創立70周年記念大会～研究発表募集

一般社団法人日本繊維機械学会は、繊維産業に携わる方々の結集体として昭和23年に創立以来、繊維および繊維機械に関する学術の進歩、かつこれらに関連する工業技術の発展に努め、平成29年に創立70周年を迎えることとなりました。これはひとえに会員の皆様の絶大なご支援とご協力の賜物であり、ここに深く感謝の意を表します。

お蔭さまで、年次大会も第70回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に介して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います。また、35歳以下の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

期 日 平成29年6月2日(金)、3日(土)

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靉本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、北へ徒歩3分)

発表募集内容

[] 内はオーガナイザー

1. 研究発表セッション

(a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

[金井 博幸 (信州大学), 末弘由佳理 (武庫川女子大学), 辻 創 (カケンテストセンター), 松岡 敏生 (三重県工業研究所), 若月 薫 (信州大学)]

キーワード: 繊維工学 (繊維製品に関わる技術, 性能試験), ウェアの高機能化 (安全, 安心, 健康), 繊維製品と感覚計測 (風合い, 快適性, 感性評価)

(b) 繊維機械の科学と工学

[太田 幸一 (岐阜市立女子短期大学)]

キーワード: 繊維機械の基礎研究, 流れの科学, 繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術, 紡績技術, 化合繊維機械, 織機, 編機, 準備機械, 織編組技術, 各種繊維関連機器

(c) ナノファイバー

[山下 義裕 (大阪成蹊短期大学), 小野 努 (岡山大学), 金翼水 (信州大学), 中根 幸治 (福井大学), 向井 康人 (名古屋大学)]

キーワード: フィルター, ナノテクノロジー, エレクトロスピンニング, メルトブローン, 生体材料

(d) スマートテキスタイル

[堀 照夫 (福井大学), 柴田 和明 (シバタテクノテキス), 高橋 秀也 (大阪市立大学), 森本 一成 (京都工芸繊維大学)]

キーワード: スマート材料, ウェアラブル, 導伝繊維, 太陽光発電織物, LED織物, 環境, 情報

(e) 環境対応技術

[小田 涼太 (三晶), 内丸もと子 (テキスタイルデザイナー), 豊田 宏 (太陽工業)]

キーワード: リデュース, リユース, リサイクル, 省エネ, エコロジー, LCA, 生分解性, 未利用資源, バイオマス, 環境負荷低減, 節電, 軽量

(f) 繊維強化複合材料

[中西 康雅 (三重大学), 植松 英之 (福井大学), 倉敷 哲生 (大阪大学), 仲井 朝美 (岐阜大学)]

キーワード: FRP, 熱可塑性樹脂複合材料, 金属基複合材料, セラミックス基複合材料, ナノコンポジット, 有機・無機繊維, 強化形態, マトリックス材, 複合効果, 傾斜機能

(g) 伝統的繊維製品および匠の技

[岡本 陽子 (神戸女子大学), 高井 由佳 (大阪産業大学)]

キーワード: 伝統産業, 天然繊維, 染織文化財, きもの, 組紐, 編物, 伝統技法, 織技法, 染技法, 衣文化, 民族衣装, 保存, 修復, 復元, 文様, 色彩, デザイン, データベース, 文化財

(h) 被服心理・ファッション

〔徳山 孝子（神戸松蔭女子学院大学）、水谷千代美（大妻女子大学）〕

キーワード：アパレル、色彩、デザイン、消費者、ビジネス、ジェンダー、顧客満足、ブランド、流行、購買行動、ユニバーサルファッション

(i) 染色・機能加工

〔安永 秀計（京都工芸繊維大学）、向井 俊博（京都市産業技術研究所）〕

キーワード：染料／顔料／色素、染色・加工処理剤、新規材料合成、染色・機能加工、デジタル染色、超臨界染色加工、エコ染色加工、ドライプロセス（電子線／紫外線／プラズマ）、堅ろう度向上、廃液処理、環境／持続社会、バイオベースマテリアル、食品・農芸分野、ヒューマンオリエンテッド

(j) バーチャルテキスタイル

〔横山 敦士（京都工芸繊維大学）〕

キーワード：繊維製品、バーチャル技術、数値解析、CAE、CAD

(k) 産業用繊維資材および不織布

〔増田 敦士（福井県工業技術センター）、矢井田 修（日本不織布協会）〕

キーワード：産業用繊維資材（テクニカルテキスタイル）、医療・衛生用、工業用、土木・建築用、自動車用、生活資材用、インテリア用、寝装用、皮革用、二次電池用などの不織布

2. 製品紹介セッション

〔武内 俊次（福原産業貿易）、井上 真理（神戸大学）、筒井久美子（村田機械）、馬場武一郎（日本毛織）〕
繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。その内容にPR色があっても差し支えありません。この点が、このセッションの大きな特徴です。広い範囲から製品、技術の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方に同じ発表内容を応募することができます（ダブルエントリーでも料金は発表1件分です）。

3. ポスターセッション

〔勝圓 進（倉敷紡績）〕

ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。

このセッションには、(1) 学術研究発表コーナー、(2) 製品紹介コーナー（製品展示・実演も可能）があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。

学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション、ポスターセッションは該当しません）、平成29年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により、提出された原稿に基づく第一審査、第一審査を通過された場合、当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし、ポスターセッション（審査対象外）へのダブルエントリーは可能です。

ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません）、平成29年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日【6月2日（金）昼休み】に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーも可能です。ただし、学術奨励賞とのダブルエントリーはできません。

発表申込方法

申込はメールで受け付けます。下記の要領でメールに必要事項をご記入の上、次のアドレスまでお送り下さい。

tmsj@rose.plala.or.jp

受付メールを自動的に分類する都合上、メールの件名は特に正確にご記入下さい。

学会 HP (<http://tmsj.or.jp/>) の年次大会頁にも同様の案内があります。

メールの件名の書き方

メールの件名は以下から選び、そのままコピー&ペーストして件名欄に記載して下さい。
これら以外の文字は件名欄に書かないで下さい。

- テキスタイル・アパレルの科学と工学
- 繊維機械の科学と工学
- ナノファイバー
- スマートテキスタイル
- 環境対応技術
- 繊維強化複合材料
- 伝統的繊維製品および匠の技
- 被服心理・ファッション
- 染色・機能加工
- バーチャルテキスタイル
- 産業用繊維資材および不織布
- 製品紹介セッション
- ポスターセッション

メールの本文の書き方 メール本文には次の事項をお書き下さい。

- (1) 申込者氏名, 所属, 連絡先住所, 電話, FAX
- (2) ご希望のセッション (ポスターセッションの場合は, 学術研究発表コーナーまたは製品紹介コーナーの
区別)
- (3) 発表題目, 発表者名 (連名者) の氏名ならびに所属 (登壇者に○)
- (4) 研究発表概要 (100 文字以内)
- (5) 学術奨励賞応募の有無, ベストポスター発表賞応募の有無, 賞に応募する場合は登壇者の年齢
(平成 29 年 3 月 31 日時点)
- (6) 年次大会特集号「NOTE」投稿の希望について
- (7) 関係書類 (参加証等) の配送先 (氏名, 所属, 連絡先), (1) と同じ場合には記載は不要です。
- (8) その他の連絡事項

発表申込締切 平成 29 年 2 月 20 日(月) 17 時必着

原稿提出締切 平成 29 年 4 月 10 日(月) 17 時必着

その他

- (1) 講演 1 件につき, 講演時間 20 分 (質疑応答 4 分, 交代 1 分を含む) を予定しています。
- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み (ダブルエントリー) の場合は, 件名のみを変更して同じ
本文内容で別々のメールでお送り下さい。このとき, メール本文の【その他の連絡事項】に重複申し込
みしている旨をご記載下さい。
- (3) ポスターボードの大きさ
 - ①学術研究発表コーナー: たて 1170 mm, よこ 870 mm.
 - ②製品紹介コーナー: たて 841 mm, よこ 594 mm.
- (4) 発表者は自動的に参加登録されます。あらかじめご了承ください。
- (5) 要旨集は紙媒体と USB メモリー両方で配布します。原稿は, 学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成
要項をご参照頂き, 書式にしたがって A4 判 2 枚にまとめて下さい。
- (6) 参加登録費: 会員・発表者 8,000 円, 非会員 13,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円
(事前登録日以降の登録 (当日を含む) は各々 2,000 円追加)

問い合わせ先

日本繊維機械学会 (第 70 回) 年次大会実行委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

平成 29 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」募集

平成 29 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおむね 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を平成 29 年 1 月 16 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付して下さい。

提出書類 次の書類を 2 部 (正 1 部, 副 1 部, 副は複写も可) 提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙 (所定の書式の用紙。学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい)
- (2) 応募業績に関する参考資料 (参考資料例: 特許, 図面, 新聞記事, 納入実績リスト, カタログ, 技術資料など)

選考方法

- (1) 一次選考 (書類審査) により選抜された業績について、二次選考 (現地調査) を行います。
- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

その他

応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

応募締切

平成 29 年 1 月 16 日(月) 17 時必着

申込先ならびに問い合わせ先

日本繊維機械学会 技術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

参考資料

過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・平成 26 年度受賞技術

「バット染料による綿ニット染色用液流染色機の開発」

..... (株)日阪製作所 清水 徹, 五反田一志, 白石 健二
(株)ワコウナレッジ 若生 寛志
福井大学 中根 幸治

「製織・縫製同時生産システムを目指したスワイベル織装置の開発」

..... (株)片山商店 小紫 和彦, 片山 象三
兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 古谷 稔, 東山 幸央
サイエンティフィックテクノロジーズ(有) 村尾 良男
神戸大学 井上 真理

・平成 27 年度受賞技術

「高耐摩耗多重構造織物設計」..... 東レ(株) 主森 敬一, 二ノ宮有希, 土倉 弘至
「機台間通信機能を備えた紡績工程管理システム」

..... 村田機械(株) 林 茂, 野間 英治, 西山 能弘
「生体を模擬した中わた素材の開発」..... 倉敷紡績(株) 小沢 一郎, 大西 浩一
タイ・クラブ(株) 山内 一平
イシケン(株) 石川 和延

・平成 28 年度受賞技術

「高性能 CFRP ソールの成形技術」

..... (株)アシックス 谷口 憲彦
川重岐阜エンジニアリング(株) 日比野 茂
(株)アシックス 松尾 弘毅, 西脇 剛史

「競泳水着における機能性設計開発」

..... (株)ミズノ 田中 啓之, 島名 孝次

平成 29 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、平成 28 年 2 月 28 日(火)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

日本繊維機械学会フェロー規程

目 的

第 1 条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

フェロー候補資格

第 2 条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴 10 年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

推薦方法

第 3 条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

推薦の時期

第 4 条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

選考方法

第 5 条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

認 定

第 6 条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

任 務

第 7 条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

登録費

第 8 条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

フェローの返上

第 9 条 フェローとしての任務が不可能となった場合は、本人の申し出によりフェローの称号を返上することができる。

附 則

1. 本規程の改廃は理事会の議決による。
2. 本規程は平成 20 年 3 月 15 日より実施する。
3. 本規程は平成 27 年 1 月 24 日より実施する。

日本繊維機械学会フェロー内規

1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名(理事)

副委員長 1名(理事)

委員 3名(委員長指名による会員)

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。

平成29年度日本繊維機械学会賞「論文賞」 推薦委員募集

平成29年度日本繊維機械学会賞「論文賞」の推薦委員募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

申込 応募される方は、①氏名、②所属、③所在地、④連絡先(電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、⑤専門分野を明記の上、平成29年1月23日(月)までに、FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。

申込先 日本繊維機械学会論文賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

平成29年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

平成29年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paperを多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE(Journal of Textile Engineering, 本学会論文集)に掲載されたOriginal Paperが「5編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年の12月31日で、40歳以下の者となります。

応募される方は、下記の書類を添えて、平成29年2月6日(月)必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部(様式は自由)

提出書類 (1) 氏名ならびに生年月日
(2) JTEに掲載された論文一覧(著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁)
(3) 推薦書(自薦、他薦にかかわらず400字以内)

申込先 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第45回繊維工学研究討論会（国際シンポジウム）研究発表募集

THE 45th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM AT KYOTO

第45回繊維工学研究討論会（国際シンポジウム）は、日本繊維機械学会創立70周年記念事業の一環として、京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパスで開催いたします。

このシンポジウムは、国内外の繊維工学研究者や技術者間の、繊維工学研究討論や情報交流をはかるために1972年に始まり、Mt.Fuji Conferenceの愛称で親しまれ本年で45回目を迎えます。会議は英語使用を原則とし、口頭発表およびポスター発表が行われます。

これまで例年国内外から60～100名が集い、30～40論文が討論され、特に若い研究者が著名な海外からの研究者と親しく話せる国際学術交流の場になっています。

繊維工学に関する広い分野からの研究発表を募集しています。なお、今回はシンポジウム優秀ポスター賞を創設しましたので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

期 日 平成29年9月14日(木)～16日(土)

会 場 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60周年記念館（京都市左京区松ヶ崎橋上町1）

内 容 予定

9月14日(木) 登録、昼食、ポスター発表、研究発表、日本繊維機械学会ミュージアム（企業展示）、Welcome Party

9月15日(金) 研究発表、懇親会

9月16日(土) 研究発表、エクスカージョン（京都観光を予定）

発表募集セッション

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1：繊維科学と技術 | 7：アパレルの科学と製造技術 |
| 2：繊維機械の科学と工学 | 8：デザイン |
| 3：染色・仕上げ | 9：環境・サステイナブル |
| 4：ナノファイバーとスマートテキスタイル | 10：風合いと感性評価 |
| 5：複合材料と工業用テキスタイル | 11：バイオメディカル |
| 6：テキスタイルの設計と性能 | 12：マーケティング（心理・ファッション） |

参加費

■全日程参加（懇親会、エクスカージョンは除く）

日本繊維機械学会会員 25,000円、非会員 33,000円、学生会員 10,000円、学生非会員 15,000円、
テキスタイル科学研究会メンバー 22,000円（税別、アブストラクト集代を含む）

■一日参加（懇親会、エクスカージョンは除く）

日本繊維機械学会会員 15,000円、非会員 23,000円、学生会員 5,000円、学生非会員 7,500円、
テキスタイル科学研究会メンバー 13,000円（税別、アブストラクト集代を含む）

■懇親会 5,000円程度、エクスカージョン参加費は未定

発表申込 学会ホームページ（<http://tmsj.or.jp/>）よりお申し込みください。

発表は実行委員会で検討し、平成29年4月10日(月)までに受理のお知らせを致します。

締 切

■発表申込締切：平成29年3月10日(金)

■要旨(abstract) (A4, 1ページ) の締切：平成29年7月3日(月)

学会HPに掲載の要旨(abstract)見本をご参照下さい。

ポスターセッションについて

- ・シンポジウム優秀ポスター賞を創設しました。
- ・ポスターボードのサイズは、縦1140mm×横850mmです。

参加申込 平成29年8月10日(木)までにお申込み下さい。

参加申込先・問合せ 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

その他 期間中の宿泊、昼食は各自でご準備下さい。

FMC 1 月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の1月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ (http://www.geocities.jp/fmc_webpage/) をご参照下さい。

期 日 平成 29 年 1 月 13 日(金) 18.15~20.00

会 場 大阪産業創造館 5F 研修室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)

内 容 皮革・毛皮素材の特性と事故事例について

古くから利用されてきた皮革・毛皮は、現在でも魅力ある天然素材です。しかし、その特性や取扱いなどの知識は十分とは言えず、事故事例も後を絶えません。皮革・毛皮素材の特性（水分特性、熱的特性、物理的特性、耐薬品性、染色堅ろう度など）は、毛と皮の構造、組成、製造処理に由来しており、これらの特性に注意を払わないで、製品づくり、取り扱い・使用をした場合、事故を引き起こします。商品企画・製造・販売者・消費者が知っておくべき基本的な特性と事故事例について説明します。

講 師 (株)消費科学研究所 雑貨グループ 技術顧問 奥村 章

参加費 ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 11 回のセミナー（10 月は見学会）に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になります。]

申 込 「FMC1 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、1 月 6 日(金)までに E-mail にて下記宛てお申し込み下さい。

申込先 大阪樟蔭女子大学 被服学科内 FMC 事務局
E-mail: fmc.office.mail@gmail.com

お知らせ 講演会京都染色研究会第 767 回例会

京都染色研究会では、会員 4 社から講師をお招きし、各社の特徴ある染色助剤や繊維加工剤について紹介していただく予定です。加工剤メーカーのみで開かれる講演会はあまりなく、染色加工に携わっておられる方々にとっては貴重な情報収集の機会になるものと存じます。多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 平成 29 年 1 月 19 日(木) 13.30~16.30

会 場 京都市産業技術研究所 2F ホール (京都市下京区中堂寺栗田町 91)

内 容

- (1) 清涼加工技術の紹介～コンフォートクール®～
..... 大原パラジウム化学(株) 技術開発部 今井 和也
- (2) 里田化工株式会社の繊維加工剤
..... 里田化工(株) 研究部 中谷 正次, 田上 寛之
- (3) フッ素フリー撥水剤開発への取り組み
..... 明成化学工業(株) 撥剤開発部 森川 周作
- (4) マイナス 20℃ブリーチと天然オイル配合仕上げ剤について
..... 洛東化成工業(株) 営業部 井狩 亜紀

主 催 京都染色研究会

参加費 3,000 円、当日受付にてご納付下さい。

申 込 参加申込書を研究会ホームページ <http://monozukuri.kyoto.jp/study/senshoku/> よりダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、FAX または郵送にて下記宛てまでお申し込み下さい。

申込先 京都市産業技術研究所 京都染色研究会 (担当: 向井, 上坂)
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町 91 京都リサーチパーク 9 号館南棟
FAX: 075-326-6135

協賛行事 繊維製品技術研究会 (ATTS) 40周年記念大会

ATTSは、繊維素材やテキスタイル、アパレルメーカー、商社、流通業、染色や加工剤、洗剤、家電、クリーニング等の繊維関連業及び関係官庁、検査機関、業界団体に所属する品質・技術担当者や学識経験者で構成する研究会です。

1977年に発足以来、繊維製品の品質苦情、品質管理、品質評価試験法などに関する諸問題の調査・研究を重ね、業界発展のために寄与する数々の実績をあげて参りました。

この度、ATTSは40周年を迎えます。これを機会に、今までの歩みを振り返り、研究活動の意義を再認識するとともに、今後の進むべき道を考えて更なる発展を期すため、下記要領にて記念大会を開催する運びとなりました。

各位には趣旨へのご賛同を賜り、多数ご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

期 日 平成29年2月27日(月) 10.00~16.50

会 場 大阪産業創造館 4F イベントホール (大阪市中央区本町1-4-5)

内 容

開会の辞 (10.00~10.05) 40周年記念大会実行委員長 鈴木 祥三
 開会挨拶 (10.05~10.15) 繊維製品技術研究会会長 牛田 智
 ATTSこの10年の歩み (10.15~10.35) 繊維製品技術研究会副会長 相馬 成男
 記念講演 (10.35~12.05)

「メイドインジャパンを支える国内繊維産地－関西・大阪の産地・企業の実態について－」

..... 大阪府 商工労働部商工労働総務課 大阪産業経済リサーチセンター 主任研究員 小野 顕弘
 近年のメイドインジャパンプームにあつて、国内繊維産地の企業や現場職人の加工技術などが改めて注目を集めています。一方で、国内の繊維生産は海外からの輸入の増加に伴い、縮小の動きが続いているのが実態です。そのような環境の中で、実際の国内の繊維産地はどのような状況にあり、各企業はどのような取組を行っているのかなどについて、統計と事例からその実態の解説を行い、これからの国内での繊維製品の生産に関する可能性を探ります。

研究分科会活動報告 (13.15~16.45)

- (1) 色泣き研究分科会 委員長 小村 真司
- (2) 酸素系漂白研究分科会 委員長 山田 勲
- (3) 衣料品の水洗い研究分科会 委員長 鈴木 陽子
- (4) ピリング研究分科会Ⅰ 委員長 畑下 和之
- (5) ピリング研究分科会Ⅱ 委員長 田原 孝則
- (6) 絵表示検討委員会・新JIS取扱い表示研究分科会 委員長 藤田 正樹・委員長 山田 勲
- (7) 関東情報研究分科会 委員長 滝口 順司
- (8) 関西情報研究分科会 委員長 大久保威宏

閉会の辞 (16.45~16.50) 繊維製品技術研究会副会長 藤田 正樹

記念パーティ (懇親会) (17.30~19.30)

主 催 繊維製品技術研究会 (ATTS)

協 賛 (一社)繊維学会, (一社)日本繊維機械学会, (一社)日本繊維製品消費科学会, (一社)日本家政学会, (一社)日本衣料管理協会, (一社)日本繊維技術士センター, (一社)繊維評価技術協議会, (協組)関西ファッション連合, 名古屋テキスタイル研究会, (株)織研新聞社, ダイセン(株)

参加費 記念大会: 正会員 3,000円, レポート購読会員・協賛会員 4,000円, 非会員 8,000円, 懇親会 5,000円

申 込 「ATTS40周年記念大会」と明記し, (1) 氏名, (2) 所属, (3) 連絡先 (住所, TEL/FAX, e-mail), (4) 会員種別, (5) 懇親会出欠の有無を記入の上, 平成29年1月31日までにE-mailまたはFAXにて下記宛てお申込み下さい。

申込・問い合わせ先 ATTS事務局 貴村旦

E-mail: atts@mm.em-net.ne.jp, TEL・FAX: 06-6762-7319

海外繊維技術文献集 Vol. 66, No. 6 (2016-11) 内容目次

全訳

- ・改質粘土鉱物によるテキスタイルの抗菌加工
- ・テキスタイル加工用の再生可能抗菌剤

抄録

- ・褐藻類の分解とアニオン性アルギン酸ナトリウム／ポリビニルアルコール／トルマリン繊維の調製のためのプロピデンシア・レットゲリのスクリーニングと同定
- ・有限要素法を用いたリングスピニングトライアングルの力学的挙動の数値解析
- ・ポリエステル／ビスコース／アクリルを混紡したオープンエンド式紡績糸のムラの予測
- ・エアジェット及びスチームジェットスパンライク糸の加工性に及ぼすコアヤーン湿潤の影響の研究
- ・快適性を改善するための植物ベースの生態模倣による枝分かれ構造をもつ編布
- ・シングルよこ編み構造の垂直ウィッキングプロファイルを予測する数学的モデル
- ・トルクフリーリング紡績糸によって作成されたセルラーゼ処理綿デニム布の色の性質
- ・有限要素解析および実験による織布の貫通挙動に関する検討
- ・布の大変形挙動を予測するためのオイラー-ベルヌーイ梁理論のメッシュを用いない定式化
- ・水溶液中のフェノールレッドとセチルトリメチルアンモニウム臭化物の相互作用
- ・着色したポリスチレン-CO-メタクリル酸分散液から青色コア-シェルの調製
- ・銅酸化物ナノ粒子をカプセル化した綿布の抗菌性に関する研究
- ・重力沈降と自己組織化によるポリエステル織物上に高品質シリカフォトニック結晶の生成
- ・白度低下しない漂白絹の光安定性の改善
- ・カチオン化綿織物のカーボンブラック／ラテックスの吸着挙動
- ・酸化チタンでコーティングしたプラズマ処理綿布の低応力力学特性
- ・プラズマ技術を用いた綿布の表面修飾
- ・アリシン結合ナノセルロースを加工したセルロース織物の抗菌性
- ・化学的、物理的、酵素的加水分解後のポリエステルの微細構造変化
- ・ヘルスケア製品用テキスタイルの抗菌剤
- ・デニムの機械特性を改善するナノ粒子多層堆積
- ・改質セルラーゼで処理したラミー織物のキャラクターゼーションとパフォーマンス
- ・アロマセラピー効果のある繊維を利用したストレス解消効果の分析
- ・羊毛の染色、抗かび加工、紫外線防護のためコーカサスサワグルミの葉からのジグロン抽出
- ・ポリエチレンテレフタレート／有機粘土ナノコンポジットフィラメントの染色性の向上
- ・ボックス-ベンケン法を用いた顔料捺染ポリプロピレン不織布の特性のモデル化
- ・医療用加圧靴下の圧力プロファイルの特性評価に向けて：現行の測定装置と方法の調査
- ・複合材料用3次元織布プリフォーム製造法の概観
- ・兵士の衛生問題と軍隊における抗菌繊維の利用
- ・形状記憶ポリウレタンナノファイバー不織布の水蒸気透過性に関する研究
- ・熱-質量輸送モデルによる単層布系の性能評価（第2報）熱抵抗および水蒸気抵抗
- ・機械的に洗浄された生機綿、天然染料で染色された褐色綿、亜麻およびレーヨン繊維の水分率、吸湿率および灰分の含有率
- ・ピリングの仮想的主観評価-もうひとつの方法
- ・修正ウェーブレット係数およびサポートベクターマシン分類器を用いた布のしわの特性評価および分類
- ・織布の3次元形状の非破壊測定および再構成に関する研究
- ・温度限界下におけるエアロゲル処理毛布の熱特性の新しい分析技術
- ・温熱快適性用消極的冷却服のサーマルマネキン法による評価

購読を希望の方は日本繊維機械学会事務局までご連絡下さい。